



新年会

自由が丘住区住民会議の新年会が、1月31日(火) 緑が丘文化会館で開かれました。今年も、区長はじめ行政関係、消防関係、西部地区住区関係、学校・公共関係、商店会・町会関係などから多くの来賓の参加を得て、二〇〇人ほどの盛大な会となりました。

石川靖英会長の年頭のあいさつに始まり、来賓代表の祝辞、来賓・役員紹介などをはさんで、各委員会や協力団体等の方々の交歓・親睦の場となりました。また、余興のビンゴゲームに、宴はさらに盛り上がりまし

た。青木英二区長の挨拶
皆様、明けましておめでとうございませう。日頃、石川会長を中心に目黒区のコミュニティ作りで大変お力添えをいただいております。心から感謝申し上げます。

また昨秋には「じゆうがおか住区ニュース」が一〇〇号ということにまさに「継続は力なり」だと強く感じております。この紙面に「一滴」というコラムがありま

す。一昨年から今年までの干支は、申、酉、戌。これれで桃太郎のお供が揃いました。鬼退治のできる一年になりますので、鬼のいない明るい社会になることを期待し、また住区の益々の発展を祈念し、目黒区を代表しての挨拶とさせていただきます。

全国各地で幼い子供が巻き込まれる事件が多発しました。私どもは5台の車で地域の安全パトロールを行っており、事件を踏まえて、今まで実施していない土・日も含めて行うための予算審議を議会にお願しております。

地域の安全・安心は行政ですべてを成し遂げることはできません。なんと言っても地域の皆さんの力「地域力」が絶対必要です。また住区の皆さんが「統一美化デー」や「ポイ捨て防止」などのキャンペーンを行い、環境を守り、地域の安全・安心につながります。今後とも一層のご協力を心からお願い申し上げます。

一 自由が丘という地名は昭和初期に創立の自由学園から取ったものです。又、昭和4年東横電鉄が東横線と大井町線が交差して乗換え駅になった時に自由が丘駅となりました。その時自由が丘駅前広場は今の東急プラザの建物の広さでした。その駅前に10軒ほどの商店が建ったのが商店街のはじまりで、昭和10年には一五〇軒を超える商店街になりました。昭和20年3月と5月に自由が丘商店街はB29の空襲を受け駅前から熊野神社の横の通り迄丸焼けとなりましたが、災い転じて福となることわざ通り現在の自由が丘商店街の発展につながった訳です。昭和24年、駅前広場の地主さんの栗山純一さんが土地を目黒区に寄附され、目黒区が今の駅前広場を作ったのが自由が丘商店街発展の大きな原因です。東急電鉄の東横線、大井町線、目黒線、池上線の中でこんなに大きな駅前広場が有り、女神まつり、盆踊り、熊野神社の祭礼、年末のクリスマス等の集い等の年中行事で利用できるのは自由が丘だけです。この広場は自由が丘商店街発展の中心です。今後とも自由が丘商店街をよろしく御愛顧の程を。

自由が丘商店街振興組合
相談役 魚見秀男

地域で子どもを守ろう

近頃、子どもが巻き込まれる事件が数多く報道されています。記憶に新しい広島県や栃木県の事件など痛ましい限りです。子どもの身の安全を考えると、自分の身の回りの安全を考えるとにもつながります。自由が丘住区内で子どもの安全を守るためにどんなことが実施されているのか、少し取り上げてみました。



住区センターにも貼り出している「子ども110番の家」のステッカーは、子どもたちが身の危険を感じたときに駆け込める家に貼ってあります。緑ヶ丘小学校区では、「みどりつば110番」とステッカーの名称が違いますが、同じことです。住区センター宮前分室にも貼ってあります。普段通る道でどこに貼ってあるか確認してみましよう。また、区内の公立小学校の児童には、防犯ブザーが配布されています。電池切れがないか確かめたり、着用場所を工夫することも大事です。それぞれの学校でもPTAが協力して防犯パトロールを実施したり、子どもたちが自分の学区を歩いて身の回りの「安全マップ」を作成するなど、子どもたちの安全を守る取り組みがいろいろな地域でも普段から子どもたちを見守る目があれば、不審者が出入りしにくい安全な住みやすい町を作るための第一歩となるでしょう。

「大人から子どもたちへ「声運動」
目黒区の小学校では、昨年度から子どもたちが顔見知りの大人を増やし、地域の方と明るいあいさつのできる子どもを育てたいと考え、一声運動に取り組んでいます。今年も2月を一声運動推進月間と決めて各学校で取り組んでいます。子どもたちが登校する午前8時頃、下校や遊びから帰る午後2時から5時頃、家の周りを通りかかった子どもたちにあいさつや声かけをお願いします。犬を散歩させるとき、道ばたで立ち話をしているときなど近くを通りかかった子どもたちにあいさつや声かけをお願いします。また家の通りを眺めさりげなく通りのチェックもお願いします。地域の方のたくさん目の目が子どもたちを守ります。ご協力をお願いいたします。

委員会活動

防災訓練

「もし東京で大震災が起きたら」をキャッチフレーズに、昨年11月13日(日)一次避難所である緑ヶ丘小学校で防災訓練を行いました。

地域の自治会を中心に消防団や日本赤十字社の方たちも顔見知りになり、また参加者同志も役割分担や訓練を体験することとか、消防署のお話を聞くことなどに残り、いざという時の役に立つことと思われま

す。さらに次年度につなげていくための課題の一つとして、実際に災害に遭われた体験者の報道などから、避難場所のトイレや水の確保なども今後委員会で考えていかなければならないと思っ

ています。防災委員会



飯ごうすいさん

11月12日(土) 宮前小学校で総勢二五〇名参加の「飯ごうすいさん」が行われました。

残念ながら、前日から雨のため、当初予定していた校庭での飯ごうすいさんはできませんでしたが、子どもたちはカレーの材料を切り、お米を研ぎました。その後、体育館で緑小・宮前小対抗ドッジボール大会をし、お腹もすいたところで、出来上がったカレーを雨の上の上がった校庭で、全員でいただきました。



歩いっしょ会



自転車安全教室

12月7日(水) 宮前小学校校庭で、碑文谷警察署と区内の自転車屋さんのご協力をいただいて自転車安全教室が行われました。碑文谷署のおまわりさんのお話のあと自転車屋さんに自分たちの自転車の点検をしていただき、校庭に作られた道路で走行練習をしました。



書初め大会

1月6日(金)、身も心も引き締まる寒さのなか、緑ヶ丘小学校体育館で書初め大会が行われました。29名の緑小の子どもは、手本を見て一心不乱に取り組みました。出来上がった作品は、緑が丘コミュニティセンター一階に展示されました。



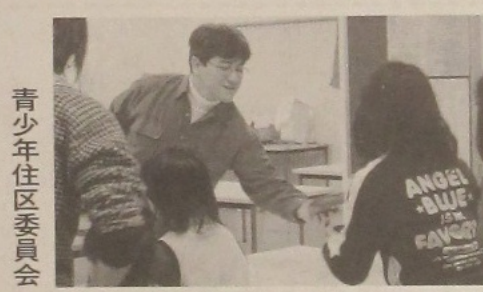
もちつき大会

1月10日(火) 宮前小学校では、始業式のあと、青少年住区委員会、地域の方、PTA、先生方、全校児童による「もちつき大会」が行われました。子どもたち全員がもちつきを体験し、ちぎって丸めて、きなこもち・おしよ油もちを作り、各教室でいただきました。



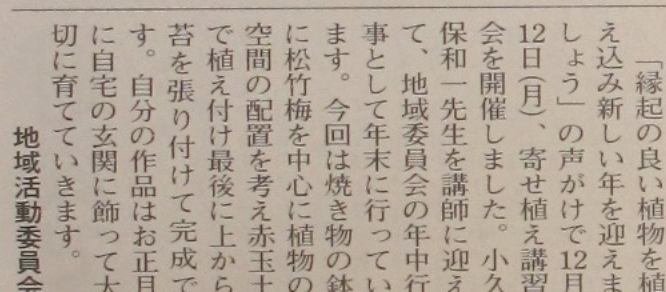
おしるこ大会

朝から雪の降る1月21日午後、宮前小学校学校開放委員会が毎年この時期に行なっているおしるこ大会が開かれました。雪だるまを作ってから来る子、親子で来た子などもあり、温かいおしるこをおいしそうにいただいています。



ペーパークラフト教室

ひな祭りを前に千代紙でお雛さまを作りました。鈴木久美子さんの指導で1月30日(月)、クラフト教室が開かれ、沢山のアシスタントの方の助力もあってケース入りの立派な可愛い内裏雛ができました。細かい指先の作業ができるかと始めは心配でしたが、順序良く丁寧な進め方で、材料の行き届いた準備のおかげで全員時間内に完成しました。童心に帰って楽しく和が広がった感じでした。



「寄せ植え」講習会

「縁起の良い植物を植え込み新しい年を迎えましょう」の声で12月12日(月)、寄せ植え講習会を開催しました。小久保和一先生を講師に迎えて、地域委員会の年中行事として年末に行っています。今回は焼き物の鉢に松竹梅を中心に植物の空間の配置を考え赤玉土で植え付け最後に上から苔を張り付けて完成です。自分の作品はお正月に自宅の玄関に飾って大切に育てていきます。



リサイクルセール

3月12日(日) 10時~12時30分
緑が丘文化会館 2階(第3研修室)

8台目の車椅子を贈ろう

バザーで販売する品物をご寄付ください。当日、会場で受け付けます。(新品が新品同様)お手数ですが、ご持参ください。売上金は日原福祉協議会に全額寄付いたします。

問い合わせ 自由が丘住区センター 3718-1195

自由が丘住区住民会議 地域活動委員会

平成17年度

西部地区スポーツ大会
西部地区スポーツ大会が1月29日(日)午前9時30分より八雲体育館で開催されました。自由が丘地区からはおよそ20名の参加者でした。「ニュースポーツ」体験などがあり、また午後行われた住区対抗ミニ運動会では八雲住区が優勝し、大会は無事終了しました。



自由が丘バトンクラブ

1月15日(日)さいたまスーパーアリーナで開催された第33回マーチングバンド・バトントワリング全国大会にて、自由が丘バトンクラブはポンボン・ベップアーツ部門で銀賞(第2位)を獲得しました。



表彰

目黒区交通安全功労者として、2月7日に目黒区から自由が丘住区住民会議の山本秀代さんが表彰されました。日頃街の交通安全対策事業にご協力くださり有難うございました。おめでとうございました。

編集後記

広報委員となり早十か月、諸先輩方の知識の多さに驚かされながら、楽しく活動させていただいています。微力ですが、皆様に喜んでいただけたら幸いです。力作が、皆様に喜んでいただけたら幸いです。

畔上澄子

発行 自由が丘住区住民会議
編集 広報委員会
電話 (3718) 1195
FAX (3718) 1192
メールアドレス jugak19@plum.plala.or.jp